

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況（振り返り）」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	職員が理念の意味を理解し、日々の業務中で実践できる。	地域密着型の理念として、職員一人一人が理念の意味を理解し、又、理念を職員間で共有して日々の業務で活かし、実践していく。	3ヶ月
2	33	重度化や終末期へのケアをどこまでできるか	方針の決定と職員の意識の統一。ケア技術のスキルアップ。	内外部の研修への参加で個々のスキルアップに繋げる。重度化、終末期への理解と取り組みについて、チームミーティング等の場において再確認を行ない、職員間で方針と意識の共有をする。	6ヶ月
3	40	食事を楽しむことのできる支援を行う	好みを把握し食事が楽しめる様に献立作りを工夫していく。	入居者様より好みの食べ物を聞き取り献立に反映する。買い物時、商品と一緒に選びながら嗜好の把握を行い、入居者様と日々の食事作りを一緒に行なうことで、作る楽しさを感じて頂き、又自分で作った料理を他の入居者様に美味しく食べて頂くことで喜びを感じて頂く。	6ヶ月
4	49	日常的な外出支援	天候や体調などを配慮し、気軽に散歩、買い物、ドライブ等支援する。	職員間の連携を図り、時間等を工夫し外出しやすい環境を整える。入居者様の日常の話しに耳を傾け、希望に沿った外出を支援していく。	6ヶ月
5	17	入浴を楽しむ支援を行う	出来る限り入居者様の入りたい時に入浴出来るような支援を行なう。	入居者様の入浴希望に沿えるように、職員間の連携を図り気軽に入浴できる環境を整える。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。